

事業名：スマート農業実証事業

事業年度：令和2～3年度

実証代表機関：長崎県農林技術開発センター

実証グループ名：長崎びわ生産コンソーシアム（長崎びわ部会およびモデル生産者2名を含む）

国のスマート農業実証プロジェクト課題（公募事業）として、令和2年度に長崎びわ生産コンソーシアムで応募した課題が採択されました。課題採択に伴い、長崎の「びわ」に関するスマート実証試験が本格的に始動し、現地実証が生産者の協力のもと動き始めています。

主な実証試験の内容は露地びわの課題のひとつである、果実内部腐敗の検知機能の実証、および非破壊による果実品質の測定機能を備えた高性能選果機の運用実証です。

また、防除の省力化に向けたドローン防除も今回の実証試験で取り組み、使用できる農薬の登録にも試験研究機関を通じて、各メーカーに働きかけているところです。



プロジェクトマッピングを使った選果
（※果実に等階級を光で明示）

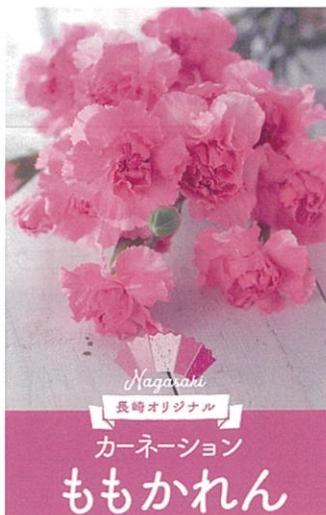


防除用ドローンの機体（果樹研究部門にて）

長崎県オリジナルのカーネーション品種を紹介します



薄ピンク色で、花びらが多くて大輪、花持ちもよい品種



土壌病害である萎ちょう細菌病に強く、濃いピンク色で大輪、花持ちもよい品種



萎ちょう細菌病に強く、白色に赤紫色の縁取りの花びらで、茎も硬く、花持ちもよい品種

長崎県のカーネーション切り花産出額は約6億円で全国5位の産地です（H30年）。そのうち、過半がJANAがさき県央の諫早カーネーション部会と大村カーネーション部会で生産されています。カーネーションの作型は、6月に定植して栽培を開始し、出荷期間は11月～5月です。

県域で組織している長崎県花き振興協議会カーネーション部会と県（農林技術開発センター、振興局）で、耐病性や耐暑性があり商品性の高い品種の育成に取り組んでおり、品種選抜やオリジナル品種PRなどの活動を行っております。平成30年に「ほほえみ」、「ももかれん」、令和元年に「ひめかれん」が新しくオリジナル品種として仲間入りしました。

今後も、長崎県の気候に合った商品性の高い品種の育成や栽培支援等を行ってまいります。